

派 遣 報 告 書（報告者： 森本 滉生 ）

大会名	第二回全九州総合バスケットボール選手権大会
開催地	長崎県長崎市
日 時	令和 6 年 11 月 16 日（土）～17 日（日）
担当ゲーム	男子 日本経済大学（福岡 1） vs 宮崎県立宮崎工業高等学校（宮崎 2）
相手審判	仲間芳幸（沖縄）・一瀬諒（長崎）・森本滉生（大分）
大会名	第 54 回全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会
開催地	長崎県長崎市
日 時	令和 6 年 11 月 16 日（土）～17 日（日）
担当ゲーム 2	女子 長崎純心（長崎） vs 長崎商業（長崎）
相手審判	森本滉生（大分）・入江鷹信（長崎）・原剛士（長崎）
Pre-Game Conference	
（担当ゲーム 1） ☐ ベーシックなメカニクスの確認 ☐ クルー間でコミュニケーションをとることをゲーム中に意識すること ☐ 処置ミスゼロ ☐ チーム情報の共有 （担当ゲーム 2） ☐ チーム情報の共有 ☐ メカニクスの確認	
Post-Game Conference	
（担当ゲーム 1） ゲームを通してプライマリ内の判定をしっかりとできていたことが多く、クルー間でタイムアウトやクォータータイムで情報共有をすることができたことなど、ゲーム前に話していたことができたことなど良かった点が多くあった。 インサイドの DF プレーヤーの判定に迷いがあり、ファウルとして取り上げるものとそうでないものを整理できずにいた。その理由として、リードローテーションを積極的に行うことができず、迷っていることが多くあり、判定に関与できなかったことがある。プレーの理解をすることで適切なタイミングでのリードローテーション、判定の準備につながると感じた。 （担当ゲーム 2） 一貫して笛を入れ続けることができたことがよかった。 クルー間のコミュニケーションをとりながらゲームを進められたことがよかった。	
今大会に参加しての感想など	
☐ 高校生と大学生という異なるカテゴリーの試合を担当させていただきました。フィジカルの差をどう見るかという課題意識を持ち、大会に臨みました。クルー間であわせながら判定をする難しさを実感しましたが、その中でもコミュニケーションをとりながらゲームを進めることができたことがよかったです。それぞれどのように感じ、考えたのか、次の判定に向けた話をするにこれからも取り組みたいと思います。 ☐ 他県の審判員の方々の日頃の取り組みなど、ゲーム以外のところでのコミュニケーションを通して学ぶことが多くありました。	

- 今回の派遣にあたり、開催県の長崎県の皆様には大変お世話になりました。また、大分県協会の皆様にはご理解をいただき、派遣させていただいたことを心からお礼申し上げます。